令和2年度土佐町教育委員会の自己点検・評価シート

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。 このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らがチェックする必要性が高いことから、地方教育行政の組織及び運 営に関する法律第26条の規定により、以下の項目について、自己点検・評価を実施し、議会への報告とともに公表します。

大項目	中項目		小項目				点検・評価		
1 教育委員会の活動及び管理・執行する事務	(1)教育委員会の会議の運営改善		①教育委員会会議の開催 回数			実現度↑	●	(10回開催した。 ○規則廃止1件、要網・要領制定3件、条例等一部改正は6件であった。	
			②教育委員会会議の運営 上の工夫		実現度↑	→重要度	〇10回の内、移動開催が1回、夜間の開催が9回であった。 〇教育委員会会議議題について事前周知のため、議題を前もって送付している。 〇会議の開催日時や議案等の情報をホームページに掲載している。		
	(2)教育委員会の会議の公開、保護者 や地域住民への情報発信		①会議録調整などの状況			実現度↑	●		
			②会議録の公開、広報の 状況			実現度↑	●	○簡単な会議録(議題に対する可否の結果等)を作成し、ホームページ上で公開している。 ○次回会議日程及び議題は、ホームページ上で公表している。	
	(3)教育委員の研修及び自	〇研修会への参加状況			実現度↑	→重要度	○教育委員対象の研修会は、2回開催され参加した ○保育園、小中学校を半日単位で訪問し、授業(保育)参観と教職員との想接会を実施した。(新型コロナウイルス感染拡大のため中止) ○定例学校訪問の外に学校行事など8回程度訪問している。(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)		
	(4)教育委員会と首長の連打	〇教育委員会と首長との意 見交換会の実施			実現度↑	→重要度	〇町長・副町長・教育委員・事務局等の出席のもとに教育行政施策及び子育て支援、保育園、小中学校、社会教育の現状について報告する、総合教育会議が開催された(1回)。		
	(5)教育行政の基本方針や教職員研修の基本方針を定めること				ること	実現度↑	→重要度	〇教育行政方針策定審議にあわせて議論し、方針を定め、教職員研修を行った。	
	(6)教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること					実現度↑	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	○専務局案(専約法付)を元に審議決定している。 土佐町子育て応援臨時給付金交付委順、土佐町学生応援臨時給付金交付委順、終育支援センターの設置及び運営に関する要綱の制定を行った。子育で支援専門員設置規則、土佐町小中学校体育施設の開放に関する規則、土佐町スクール・バス運行及び利用に関する規則、土佐町中学位重学用自転車等限入賃補助金欠付規則、数学援助規則、スクールソーンャルワーカー取扱委綱の改正を行った。土佐町教育支援センター事業産業業業、土佐町の和対策業条件管理監督規則の廃止を行った。	
	(7) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること				:定する	実現度↑	● → 重 要 度	○教育方針に基づく施策は、予算に反映できている。	
	(8) 教育行政相談担当者の設置及び公表					実現度↑	● →重要度	〇教育委員会で指定し、ホームページで公表している。(法第18条第8項)	
	(9)教育委員会事務局(所管施設含む)の職員及び県費負担に係る 教職員の人事の内申に関すること				旦に係る	実現度↑	●	○土佐町の教育の現状に配慮した適村適所の人事異動の内申が出来ている。○小中一貫教育推進教員、図書館活用型教育推進教員、中高連携教育推進教員の配置を受ける事が出来た。	
	(1)教育委員会費 (9-1-1)	最終予算額 R2 942	国•県支出金地	方債 その他	一般財源 942	実現度↑	●	〇各協議会等が主催する研修会に参加した。	
	(2)事務局費 (9-1-2)	最終予算額 R2 51,405	国·県支出金地 1,661	ま方債 その他 5,2	一般財源 54 44,490	実現度↑	●	○スケールソーシャルワーカーを雇用し学校・家庭・児童・生徒との連携や信頼づくりに努めた。 ○歳北高等学校への土佐町からの在校生に対し教科書購入費補助を行った。 ○高校や大学等の希望学生に対し、奨学金の貸し付けを行った。	
	(3)学力向上対策費 (9-1-3)	R2 6,110			一般財源 3,663	実現度↑	● 重要度	〇2020年(小学校)・2021年(中学校)からの新学習指導要領への完全移行を前に、「ICT教育の充実」「基礎基本の定第」「英語教育の充実」「校内研修の充実」を進め、新学習指導要領に対応できる環境を整えるとともに、子どもの学力向上及び教員の指導力向上に取り組んだ。	
	(4)外国青年召致事業費 (9-1-4)	R2 4,116			一般財源 4,116	実現度↑	→重要度	〇小中学校に配置することで児童生徒との交流が深まるとともに、中学校英語授業及び小学校外国語活動に効果的であった。 〇定期的に保育園との交流を行い異文化の中で園児が楽しく遊ぶことができた。	
	(5)小学校管理費 (9-2-1)	R2 14,787		1200 2	一般財源 46 12,120	実現度↑	→重要度	○修繕箇所への早期対応など適切な施設管理ができた。	
	(6)教育振興費(小学校) (9-2-2)	R2 33,730			一般財源 29,088	実現度↑	●	○土佐町教育行政方針に基づき、誘書教育、特別支援教育の充実など特色ある学校運営がなされた。 ○保小中連携教育は順調に推進できた。 ○小中合同授業研究を推進することができた。	
	(7)中学校管理費 (9-3-1)	R2 23,190		1200 5	一般財源 46 20,222	実現度↑	●	○修繕箇所への早期対応など適切な施設管理ができた。	
	(8)教育振興費(中学校) (9-3-2)	R2 26,336			一般財源 24,932	度	→重要度	○ 力技町教育行政方針に基づき、読書教育の充実など特色ある学校運営がなされた。保小中連携も順調に推進できた。○ 「総合的な学習の時間」に、話し合い学習を行った。	
	(9)社会教育総務費 (9-4-1)	R2 19,295			一般財源 17 19,278	度	● 重要度	○前年度に引き続き各団体に対する補助金の適正な執行を行った。 ○郷土学習センターの管理運営を委託し、ギャラリーを活用した企画展や講座を開催した。	
	(10)文化財保護費 (9-4-2)	R2 1,099			一般財源 1,099	実現度↑	● ● ● ● ●	○文化財保護審議委員を中心に、定期巡視を行った。 ○県及び中央地区文化財保護連絡協議会研修会に参加した。	
	(11)少年育成センター運営 費 (9-4-3)	R2 15	国・県支出金地		一般財源 15	実現度↑	●	〇児童生徒の安全安心な登下校のため返回パトロール及び街頭指導を継続する。 〇健全育成に努めた結果、補導件数はOであった。	
	(12)町立図書館費 (9-4-4)	R2 6,304			一般財源 6,304	実現度↑	●	○図書館便りの公開など適切な図書館運営がされている。 ○週休日・报日も開館(毎週火曜日、年末年始は休館、開館時間午前10時~午後6時)し、図書館利用者のサービス向上に努めた。 ○図書の貸し出し冊数は年々増加しており、利用が増えている。	
	(13)学校・家庭・地域の連 携による教育支援活動促進 事業 (9-4-5)	最終予算額 R2 10,285	国·県支出領地 6 6,484	方債 その他	一般財源 3,801	実現度↑	→重要度	○地域で子どもを守り育てる仕組み作りにつながっている。又、地域の方が学校に入ることにより、児童生徒、地域の方との交流ができ、安全な学校環境をつくることができた。 ①学校からの協力核解析が開催にあるので、学校支援がスムーズに行えた。 ○放課後子ども教室申込児童は122名、一日平均約64名の児童が参加した。 ○学校の活団指進本部実行党員会を②回開催し、学校応援の内容・課題等について協議し充実に繋がっている。 ○事業成果のパンフレットを作成し普及啓発、広朝活動を行った。	
	(14)保健体育総務費 (9-5-1)	最終予算額 R2 35,925	国・県支出金地	:方債 その他 120	一般財源 40 23,885	実現度↑	●	O給食センターにより、安全安心な学校給食に取り組んでいる。	
	(15)体育施設費 (9-5-2)	最終予算額 R2 10,593	国・県支出金地	方債 その他	一般財源 10,593	実現度↑	• •	〇社会体育施設の利用頻度は高く、新たな体育団体も増加している。 〇町民プールは石原、掲川、松ヶ丘、土佐町小中学校の4カ所で827日間開放した。 〇体育館等の管理委託をハビネススポーツクラブに委託し、地域に寄り添った管理運営を進めた。	
	(16)保育所費 (3-2-1)	最終予算額 R2 149,437	国·県支出金地 2,902	:方債 その他 1.5	一般財源 70 144,965	実現度↑	●	○職員個々が考えていく保育から、組織としての保育という意識に変わってきた。職員同士の声掛けや園内研修の充実により、目指す子ども 像に向けて共通認識を持って取り組むことができてきた。 ○保育園と教育委員会の連携がとれ、個々のケースごとへの対応を行った。	
	(17)子育て支援費 (3-2-6)	最終予算額 R2 7,157	国·県支出領地; 7 4797	方債 その他	一般財源 2,360	実現度↑	→重要度	○乳児健診等の機会を利用してボッポ広場への誘いかけを常に行っており、親子の触れ合いや保護者同士の交流の場となっている。 ○ボッポだよりを発行し、すべての家庭が利用できるよう啓発も行っており、そともたちがより豊かに育っていける支援を目指し、取り組みを進めている。 ○みっぱ保育園でのボッポ広場(体験保育)は、次年度の入園を考えている保護者にとって、好評となっている。	
総合	群 1曲				_	_			

総 合 評 価 〇行政協所における重要度を意識し、その実現については担当部署(係)において努力している。 ○教育行政方針に基づいた施策の展開が出来ている。詳細に力たるデータの集構を評価特別にすることは今後の課題である。 ○表知病教育版アクションプランは、第二次主任面教育振興基本計画(豊かな必要育む教育)をベースに子どもたちの生きる力の育成と教育風土の高い町づくりの推進を基礎にした事業を行った。